

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 県産アユ利用普及推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2913)

E-mail： c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額：3,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,100	1,434	0	0	0	0	0	0	1,666
要求額	1,000	358	0	0	0	0	0	0	642
決定額	1,000	358	0	0	0	0	0	0	642

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・平成27年12月、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定された。
- ・鮎をはじめとした地域の農林水産物・加工品から観光資源までを「長良川ブランド」として、普及啓発していく。
- ・知事の海外トップセールスなどにより岐阜県産鮎の知名度が上昇しており、需要の拡大が期待できる状況にある。
- ・平成30年6月には「清流長良川あゆパーク」が完成し、世界農業遺産の発信拠点としての利用が期待されている。

(2) 事業内容

○学生あゆ料理コンテストの開催

清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー候補とするために、栄養・調理を学ぶ県内学生による創作あゆ料理コンテストを開催

(3) 県負担・補助率の考え方

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会 (県、市、業界団体など) の一員として、当該事業は県が取り組む必要がある。

3 事業費の積算内訳

歳出

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	105	審査員報償費
旅費	72	業務旅費
需用費	97	賞状及び副賞購入費、賞状印刷費
役務費	10	通信費
業務委託料	716	コンテストの運営委託
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3年～令和7年度）

第5章 政策の方向性

1 基本方針ごとの重点施策と主な取組み

(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑥ 鮎を守り育てる体制の構成

(2) 後年度の財政負担

岐阜県産鮎の販路拡大及び国内外への周知のため、継続的な事業の実施が必要となってくる。

(3) 事業主体及びその妥当性

「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいか

本事業をきっかけとして、県産鮎の需要を拡大し、令和7年度までには、漁業者による鮎漁獲量を350tにする。（令和元年現在：213t）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
漁業者による鮎漁獲量		(H)	(H)	213t (R1)	350t (R7)	%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

学生あゆ料理コンテスト応募118作品から入賞22作品を選定

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

① 創作あゆ料理を通しての世界農業遺産「清流長良川の鮎」のPR

② 清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー開発（候補：令和2年度学生あゆ料理コンテスト入賞22作品の中から）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	応募数について、新型コロナウイルス感染症の影響により118作品に減少したものの、3年連続で100作品以上の応募があり、清流長良川あゆパーク・レストランでメニュー化する等、事業の成果があがっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	